

製品名: TAOK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18644**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	135kDa

抗原情報

遺伝子名	TAOK2 KIAA0881
別名	MAP3K17 PSK PSK1 UNQ2971/PRO7431
遺伝子 ID	9344.0
SwissProt ID	Q9UL54
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

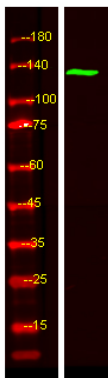
この遺伝子は、細胞シグナル伝達、微小管の組織化と安定化、アポトーシスなど、様々なプロセスに関与するセリン/スレオニンプロテインキナーゼをコードしています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが

報告されています。[RefSeq 提供、2011年10月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 上流の MKK3 および MKK6 キナーゼを特異的に活性化することにより、JNK MAP キナーゼ経路を活性化します。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr プロテインキナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在: 核周縁部に局在し、小胞コンパートメントに局在する。サブユニット: MKK3 および MKK6 と相互作用する (類似性による)。自己会合する。組織特異性: 普遍的に発現し、精巣と脳で高い発現レベルを示す。、

研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。